

広報

とちぎ

2016 **2**
NO.70

発行/栃木市
〒328-8686 栃木県栃木市万町9-25
編集/総合政策部秘書広報課
☎0282-21-2316
<http://www.city.tochigi.lg.jp>

今月の1枚

バラのフラワーアレンジメントに挑戦

(ふるさと農業体験学習にて、H27年12月19日撮影)



市の農業にふれあう 「農業士」によるふるさと農業体験

「農業士」は、模範的で優れた農業経営や農家生活などを実践し、青年農業者等の育成や男女共同参画ビジョンの推進など、地域農業の振興を任務としています。県から認定を受けた男性農業者を「栃木県農業士」、女性農業者を「栃木県女性農業士」といいます。本市では26の方が農業士として認定を受け、活動を行っています。

12月19日(土)には、本市の農業士会主催による「ふるさと農業体験学習」が行われました。この事業は、一般の消費者の皆さんと農産産者との交流を通して農業への理解を図るもので、この日は市内から25人の皆さんが参加しました。

今回は、大塚町にある栃木県農業試験場いちご研究所の施設見学や、観光農園アグリ郷でのいちご狩り、つがの里で地産地消のお昼を食べながらの生産者との意見交換のほか、農業士である大塚幸八さんのバラ農園を訪れ、バラが栽培されているビニールハウスの見学やフラワーアレンジメントの体験をしました。

今回協力をいただいた大塚さんは、新たに農業を始めようとしている方や消費者の方に、自己の農場を公開し『新規就農促進』や『食と農の理解促進』を目的とする「とちぎオープンファーム」にも参加しています。ビニールハウスを使用したバラの栽培は、年間をとおして行われ、10月から3月が見ごろとなるそうです。

参加者の皆さんは、今が旬のおいしいいちごを頬張ったり、大塚さんが丹精を込めて育てた色鮮やかなバラでフラワーアレンジメントを楽しんだり、市の農産物に触れることができました。

目次

特集 憧れのトチギーノ 2

インフォメーション

- (今月の注目情報) ... 3~6
- (各課からのお知らせ) ... 7~8
- (募集) ... 9
- (催し) ... 10
- (講座) ... 10
- (スポーツ) ... 10

- みんなの伝言板 11
- 文化芸術のお知らせ/子育て広場 ... 12
- 子育て広場 13
- 健康情報コーナー 14
- とちぎ散歩/わが家の天使/お知らせ ... 15
- まちかどニュース 16



栃木市マスコットキャラクターとちぎ

栃木市の人口

人口/163,523人 (-49)
 男/ 81,111人 (-6)
 女/ 82,412人 (-43)
 世帯数/ 63,074世帯 (36)

※外国人登録を含む
H27年11月末現在()内は前月比

市章



栃木市の「と」の文字をモチーフとして、緑色の4本のラインは自然、歴史、地域、人を表し、青色はそれぞれの流れが一つとなった大河の流れを、その先にあるオレンジ色の円は輝かしい未来と人々の情熱を表しています。